

第7回（平成24年）
「大和郡山・金魚検定」

解 説

<分 野… 大和郡山>

<難易度… 上 級>



大和郡山・金魚検定認定委員会

問題 1

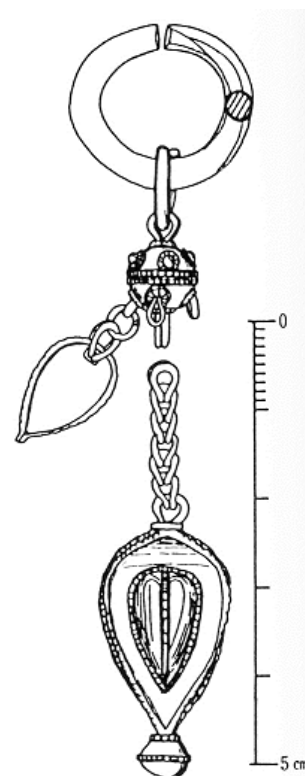
【正 答】 ③ 割塚古墳—垂飾付耳環

【解 説】

割塚古墳と笹尾古墳は古墳時代の後期に築造された古墳で、全長10m超の横穴式石室を埋葬主体部としている。どちらも埋葬主体部の発掘調査がおこなわれているが、既に盗掘にあっており、副葬品は一部しか残っていなかった。割塚古墳からは須恵器類や馬具、鉄製武具類、玉類が出土しているが、中でも右図の垂飾付耳環は渡来系遺物として注目されるものである。笹尾古墳からは石棺の破片、鉄釘、須恵器が出土したのみである。割塚古墳は市の指定文化財。

【参 考】

『矢田丘陵周辺の古墳文化 - 郡山・斑鳩・平群の古墳を考える - 』大和郡山市教育委員会 1998年



割塚古墳の垂飾付耳環

問題 2

【正 答】 ② 原田遺跡では渡来系の土器類が出土し、渡来人との強い関連が想定されている。

【解 説】

原田遺跡は縄文・弥生～古墳時代の遺跡で、写真のような渡来系とされる土器が一定量出土している。当時は最先端の渡来系技術の掌握が重要視された時代であり、注目される。菩提山遺跡はこの原田遺跡のすぐ北方の丘陵上に位置するが、古墳時代初頭まであった集落が廃絶し、中頃以降古墳群が築造される。この古墳群からも渡来系集団との強い関連を想定できる土器やミニチュア農工具が出土している。西田中遺跡では古墳時代の竪穴住居が調査されているが、古墳は確認されていない。東城遺跡は玉類の未成品が出土する遺跡。



原田遺跡の渡来系土器

【参 考】

『大和郡山発掘総まくり - 郡山の遺跡と発掘調査 - 』大和郡山市教育委員会 2008年（各遺跡の報告書の一覧あり）
リーフレット「菩提山遺跡」大和郡山市教育委員会 2011年

問題3

【正 答】 ① 奈良時代の井戸に投棄されていた。

【解 説】

九条町の清掃センター建設時には敷地内の大部分が発掘調査され、平城京の宅地利用に関する多くの所見が得られている。富本銭は現在でこそ日本で最も古い銭貨として知られているものだが、この調査があった頃には明確に遺跡から出土した例が知られていなかったため、本当に古代の貨幣か明らかではなかった。この調査で、井戸底から奈良時代の銭貨などと共に投棄された状況で出土したことから、古代のものであることが証明された。問にある②はその後発見された明日香村飛鳥池遺跡のこと。この銭を鑄造した天武朝の工房を確認している。③は藤原宮の事例で地鎮に伴うものと考えられている。大和郡山市内では和同開珎で口を塞いだ壺が平城京から出土している。④はさし銭と呼ばれるもので、平城京内では和同開珎を用いた事例が確認されている。

【参 考】

『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』大和郡山市教育委員会
1990年

問題4

【正 答】 ① 行基

【解 説】

この遺跡は、問いにある小型瓦の出土や地名考証などから奈良時代の僧行基が建立した寺院のひとつである菩提院との関連が指摘されている。ただし、小型瓦は遺構に伴う状況で出土しておらず課題も多く残る。同様の小型瓦は奈良市菅原遺跡でも出土し、この遺跡も行基建立の長岡院の有力な候補地となっている。行基は民衆教化や社会事業に尽力し、四九院を創設するなど各地に大きな足跡を残した。国家からはたびたび弾圧されるが743年の大仏造立に協力し大僧正に任じられる。②鑑真は唐の高僧。5度の渡航失敗や失明を経て来日し戒律教授に努めた。③重源は鎌倉時代に東大寺再建に努めた僧。④忍性は鎌倉時代の僧で、額安寺で出家、再興に尽力。各地で土木事業や受戒活動をおこなう。舍利の一部が額安寺に埋納されている。

【参 考】

吉川真司「行基寺院菩提院とその寺田」『日本古代社会の史的展開』
塙書房 1999年

リーフレット「菩提山遺跡」大和郡山市教育委員会 2011年

問題5

【正 答】 ③ 奈良の天満山・大乘院山に三好三人衆と筒井順慶軍が陣取り、多聞山城に籠もる松永久秀軍との戦いが間近に迫っていた。

【解 説】

三好三人衆と池田政勝軍1万余が、松永久秀を討つべく奈良に進出してきた永禄10年(1567)4月のことである。興福寺の衆徒である筒井順慶は、当然のこととして興福寺に布陣しない旨を丁重に答えている。この後、東大寺に布陣した三好軍と攻め寄せた松永軍との戦いで東大寺大仏殿が焼亡するが、順慶は大乘院山に布陣したままで三好三人衆と仲違いして、この東大寺の決戦には加わっていない。なお、①は永禄2年(1559)のこと、②は元亀2年(1571)のこと、④は永禄9年(1566)のことである。

【文 献】

藪 景三『筒井順慶とその一族』新人物往来社 1985年

長田光男「今、筒井順慶に学ぶこと」『順慶と筒井城を語る』大和郡山市教育委員会 2000年

問題6

【正 答】 ① 1. 明智光秀 2. 根来寺 3. 秋篠川

【解 説】

郡山城の築城は20年あまりを要する大事業であった。現在残る城の骨格は秀長と増田長盛の普請によるものとされる。順慶のころの様子は明らかにはなっていないが、この頃には多聞山城の大石を運んだこと、光秀が郡山を訪れたことのほか、天守閣の急造といった興味深い記事もみられる。根来寺は紀州の大寺院で多数の僧兵を擁する一大軍事勢力でもあったが、天正15年(1585)豊臣秀吉によって一度焼亡している。この大門移築にあたっては大阪を経由して淀川を上り、木津で陸揚げして郡山に運んだとある。築城に際して石材の工面に苦勞したエピソードが多く残ることは特徴的である。現在の秋篠川は郡山城の北方で東方に屈曲しているが、これは長盛の普請によるもの。完成した郡山城は京都や大阪に近い要衝の城として、徳川政権下においても譜代大名が城主を努めるなど重要視されることとなる。



空から見た郡山城

【参 考】

『大和郡山市史』大和郡山市役所 1966年

問題7

【正 答】 ② 水野勝成一洞泉寺

【解 説】

洞泉寺（洞泉寺町所在）は、もとは三河国にあったものを天正9年（1581）年に大和国長安寺村に移され、同13年、豊臣秀長の頃に現在の地に移したものと伝わる。水野勝成は郡山に入部した際、城が廃城同様となっていたため洞泉寺に仮住まいしている。①春岳院（新中町）は秀長の位牌所菩提寺。当初は東光院と号し、秀長の菩提寺であった箕山の大光院が京都に移建される際に位牌と大納言塚の管理を託された。③良玄寺（茶町）は本多政勝が姫路から郡山に移る際に、祖父と父が上総に建立した寺を移して菩提寺としたもの。昭和39年（1964）に本堂裏庭から政勝と母、妻、長子の墓碑が発見された。④永慶寺（永慶寺町）は柳澤吉里の父吉保が甲府にたてた菩提寺を郡山国替えの際に移したもの。もともとこの地には第2次本多家の菩提寺である法光寺があった。

【参 考】

『ふるさと大和郡山歴史事典』大和郡山市文化財審議会 1987年

問題8

【正 答】 ④ 安元 杜預蔵

【解 説】

安元家は代々柳澤家に仕えた。杜預蔵は、綿町で塾を開いていた陽明学者、森田節斎の門弟。文筆に秀で、憂国の志厚く、嘉永6年（1853）5月、郡山に立ち寄った吉田松陰と一夜時局を論じ合い、意気投合している。同年6月、ペリーが来航した際、幕命を受けた郡山藩は杜預蔵を沿海防備隊長に命じ、東上させている。安政元年（1854）7月、27歳で病死し、永慶寺に葬られた。

【文 献】

『郡山百話』大鎌淳正（郡山ライオンズクラブ） 1999年

『ふるさと大和郡山歴史事典』大和郡山市文化財審議会 1987年

問題9

【正 答】 ④ 奈良・平安時代に六つの歴史書が勅撰されが、その頃にこの神社が存在したこと。

【解 説】

奈良・平安時代に勅撰された歴史書を「六国史」と称する。『日本書紀』、『続日本紀』、『日本後紀』、『続日本後紀』、『文徳実録』、『三代実録』の六つである。その時代に存在していた神社であることを示すのが「国史現在（見在）社」である。薬園八幡神社は平城京九条大路の南（現大和郡山市塩町辺り）に東大寺が開拓した薬園庄の鎮守として創祀されたようである。もとは塩町のお旅所にあったが、郡山築城に際して現在地に移された。

【文 献】

『ふるさと大和郡山歴史事典』大和郡山市文化財審議会 1987年

問題10

【正 答】 ① 郡山城主柳澤香山は、京都五条坂の陶工丸屋治兵衛を五条山に呼び寄せ、赤膚焼の復興をはかった。

【解 説】

赤膚焼は小堀遠州の創始とされる「遠州七窯」の一つ。その七窯とは、遠江国志戸呂、近江国膳所、豊前国上野、筑前国高取、山城国朝日、摂津国古曾部、大和国郡山赤膚。五条山に京都の名工治兵衛を呼び寄せた郡山城主は堯山柳澤保光である。郡山の赤膚焼の名工は柏屋武兵衛。すなわち奥田木白である。矢田町通の円融寺に木白の墓がある。

【文 献】

『（財）大和文化財保存会収蔵品目録 - 陶磁器編〔赤膚焼〕 - 』

（財）大和文化財保存会 1995年

高橋隆博「赤膚焼について」『特別展大和の近世美術』奈良県立美術館
1991年

村上泰昭「奥田木白について」『赤膚焼研究会通信』第3号

問題11

【正 答】 ③ 山辺郡

【解 説】

大和郡山市の地籍は、古代の層富郡に当たり、大化改新により郡は添上・添下両郡に分けられた。その他には平群郡の一部も含まれる。

【文 献】

『大和郡山市史』大和郡山市役所 1966年

問題 1 2

【正 答】 ④ 天地初めて發けし時、高天の原に成れる神の名は天之御中主神。次に高御産巢日神。次に神産巢日神。この三柱の神は、みな獨神と成りまして、身を隠したまひき。

【解 説】

いずれも『古事記』と『日本書紀』の冒頭の記述である。このうち①～③は『日本書紀』巻第一にみえる「一書に日はく」に始まる文章で、④が『古事記』である。

【文 献】

『古事記』岩波文庫
『古事記』明治書院
『日本書紀 上』岩波書店

問題 1 3

【正 答】 ②

【解 説】

②は市内若槻町にある大和郡山市立平和地区公民館ホールの緞帳に描かれている人物画である。稗田阿礼を祀る賣太神社にほど近いことから緞帳のモチーフとした。①は聖徳太子、③は太安万侶の肖像。④は鑑真の像である。

【文 献】

『社会科 中学生の歴史』帝国書院
『古事記の証明』毎日新聞社

問題 1 4

【正 答】 ① 上田忠男

【解 説】

上田忠男氏は医師として地域医療に携わる傍ら、30歳ごろから出身地の稗田の歴史や文化に関心を持ち、関連する美術品などの収集に尽力。生前は稗田町で「阿礼資料館」の建設も夢見ていたが81歳で亡くなった。2012年2月、家族の協力を得て、市内で忠男氏の古事記コレクション展が行われた。

問題15

【正 答】 ③ こをろこをろ

【解 説】

日本の国ができる前イザナギ、イザナミの二人が長い矛で海をかきまわすと「こをろこをろ」としたり落ちた塩が積み重なり、ひとつの島ができたという古事記の物語から名づけられた。上田清市長が名付け親で、ラベルの文字は書家の高岡哲也氏による。



問題16

【正 答】 ④ 南六条町

【解 説】

南六条町は天理市。九条町は平城京八条一帯にあり平城京の条坊に因む地名。他の3つの町は条里に因む地名で、条里の区割り復元と比較すると、伊豆七条町は添下郡七条付近、八条町は平群郡八条から九条にかけて、南六条町は添上郡六条付近にある。

問題17

【正 答】 ② ア 金剛山寺 イ 地蔵菩薩

【解 説】

矢田寺は、正しくは矢田山金剛山寺と号する。矢田丘陵の中央、矢田山の中腹に位置し、日本の地蔵信仰発祥の霊場の一つ。飛鳥時代末の673年に天武天皇の勅願により智通僧正が七堂伽藍四十八ヶ坊を造営、天皇の守り本尊と言われる十一面観世音菩薩と吉祥天を安置。その後、平安時代初めの弘仁年間に満米上人と参議 小野篁により地蔵菩薩が安置され本尊とされて以来、地蔵信仰の中心地となる。

【文 献】

『ふるさと大和郡山歴史事典』大和郡山市文化財審議会 1987年

問題18

【正 答】 ① 葉本家住宅

【解 説】

葉本家は虫籠窓（むしこまど）の分銅の印からもわかるように当初は両替屋を営み、その後、肥料屋を経て現在に至っている。明治初期の建築と推定され、文化庁の登録有形文化財に指定されている。主屋は南側に通り土間をとり、北側に六間の居室をとっている。正面側の二間は小さくして坪庭を設けている。屋根は棧瓦葺（さんがわらぶき）で、むくりをつけている。一部に改変があるものの保存状態もよく、街道沿いの町屋は当家以外に数件しか残っておらず、当時の町屋建築を知るうえで貴重な遺構である。



葉本家住宅の内部

問題19

【正 答】 ④ 日本ゴルフツアー選手権

問題20

【正 答】 ② 郡山西中学校

【解 説】

藤本選手は大和郡山市立郡山西中学校卒業後、東北高校、東北福祉大学を経て、平成23年12月にプロデビュー。平成24年6月3日に最終日を迎えたプロ転向後5戦目となるメジャー大会「日本ゴルフツアー選手権」で初優勝を飾った。市広報紙「つながり」平成24年7月1日号では市役所に市長を訪問した模様を掲載。

問題21

【正 答】 ③ 大和まほろばスマートインターチェンジ

【解 説】

平成24年7月に開通したスマートインターチェンジで、名称は「大和まほろばスマートインターチェンジ」。「まほろば」といった古語にちなんだ名称は、大和郡山市の「古事記1300年紀事業」や奈良県の「記紀・万葉プロジェクト」といった各事業の観光PRとなる効果も期待される。



開通当日に行われた開通式

問題22

【正 答】 ① 大和郡山市立金魚水族館

【解 説】

②奈良県中央卸売市場は筒井町にあり、開場以来「県民の台所」として、大きな役割を果たしている。③奈良県立民俗博物館は、矢田町にあり奈良（大和）に暮らす人々が、その風土の中で育み、改良工夫をかさねながら維持してきた生活用具など民具の数々約4万2千点を収集し、これらを保存、展示公開している博物館。④奈良工業高等専門学校は、矢田町にある。実践的な技術者養成機関としてほぼ半世紀前に創立された。この間、高専で実施してきた実践教育の成果は産業界から高い評価を受け、卒業生の多くは産業界の中核技術者として活躍している。

問題23

【正 答】 ③ ガイド申し込み書に記入し、2週間前までに観光協会へFAXで申し込む。

【解 説】

大和郡山市観光協会のホームページにある「ガイド申し込み書」に希望日時やコースを記入のうえ、FAXまたは郵送、窓口持参にて2週間前までに観光協会へ申し込む。観光バス等での団体利用者だけでなく、少人数の利用者への対応も行っている。

問題24

【正 答】 ③ 280億6千万円

【解 説】

平成24年3月に市議会で可決された一般会計予算の総額は280億6千万円。市民が安心して生活することができるための取り組みを最優先に未来への投資として必要なものを思い切って予算化。市広報誌「つながり」平成24年4月15日付けに掲載。

問題25

【正 答】 ④ 水晶

【解 説】

平成4年に大和郡山市は甲府市と姉妹都市を提携し、2012年で20周年になる。甲府市では水晶の研磨をはじめとした宝飾産業が盛んであり、写真の水晶は姉妹都市締結の記念に甲府市から寄贈されたもの。



甲府市寄贈の水晶